

9月号

いっしん

平成30年(2018年)

第404号

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 /FAX 020-4665-5653
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

雨にぬれ
日に照らされて
草木にも
花咲きにけり
実も結びけり
甘本親教会
初代教会長
安武松太郎師御教

甘本親教会 布教115年 記念大祭 平成31年 10月26日・27日
加治木教会 矢野政美大人20年祭・矢野サダ子大刀自5年祭 平成31年2月10日



鹿児島県教会
加治木教会
出水教会
宮之城教会
熊本県教会
萩原教会
南関教会
八木教会
山鹿教会

第七十一回 少年少女全国大会

参拝

第七十一回 少年少女全国大会に
四日午前九時、加治木教会からマイ
クロバスで出発させていただき、途
中福岡空港から沖繩(現正那覇)から飛行
機で参拝の、有蘭家の母子三人が合
流して乗り込み、道中無事に「霊地
夜まつり」が始まる頃に到着させて
いただきました。

「霊地夜まつり」では、本部境内
一帯に無料の夜店やフードコートが
開設され、第一部「ゆうやけパレ
ード」、第二部「ステーションパフォー
マンス」、第三部「激突！日本の祭り」が
行われ、たくさんの人で賑わいまし
た。

翌五日は、金光様のお出ましお迎
えに始まり「かがやけ大行進」に参
加させていただき「わかば祭」にお
参りさせていただきました。

「わかば祭」では、わかばの代表
が「まごころ運動の」折鶴などをこ
神前にお供えました。

続いて、教主金光様ご夫妻がご入
場になられ、わかばの代表が花束を
贈らせていただきました。



「わかば祭」で「まごころ運動」の折り鶴などのお供え



わかばの代表が教主金光様ご夫妻に花束を



「かがやけ大行進」出発前



「わかば祭」でのアトラクション



霊地夜まつり
甘木教会による山笠

今回の全国大会には、鹿児島地方教会連合会から計十三名で、出水教会、宮之城教会、加治木教会（八名）からの参拜で「かがやけ大行進」には人吉教会の光太郎先生もトランペットを吹いて一同行進して下さいました。

「ひつとべバンド」は「南九州教区梯団」と一同行進し、行進後「南九州教区」の参加者一同で記念撮影

「わかば祭」で教主金光様は、「このたび、第七十一回 金光教少年少女全国大会が、神様のおかげのなか、多くの方々のお世話になって開かれ、有難いことです。わかばの皆様が、こうして元気に霊地に集うことができ、ここまでのお礼を申し上げることができましたことは、ともに喜びたいと存じます。教主様は、今日今日と言うことを大切にされました。皆さんも、お道にご縁を頂いているお礼を土台にして、一生に一度しかない今月今日ただ今のおかげを頂かれますようお祈り致します。本日は、おめでとうございます。」

とのお言葉でした。



「かがやけ大行進」8/5

をさせていただきます。

（集合記念写真のご提供は萩原教会からです。有難うございました。）

今回、皆さんからの要望もあり、前もってマイクロバスをレンタカーに予約していたところ、予想人数より少なく、寸志を頂いた方々にはお土産を買わせていただく余裕がありませんでした。紙面上で相済みませんが御祈念とご厚志、改めて厚く御礼申し上げます。



「かがやけ大行進」は商店街から会堂前までの行進でした

少年少女全国大会に
参拝させていただいて

上田和也



第七十一回 少年少女全国大会に、
今年も休みが取れた日曜日から新幹
線で参拝させていただき「わかば祭」
には何とか間に合い参拝させていた
だくことができました。

わかば祭では、教主金光様ご夫妻
がご入場され、わかばの代表から花
束の贈呈がありました。金光様
のごようすが大変お元気そうで花束を
お受け取りになれる時にもこやか
な表情で、最近の御大祭では金光様
のお姿を拝見しないことがありまし
たので、有難く思わせていただきま
した。

帰途、マイクロバスの運転の御用
に当たらせていただき、今回は宮之
城教会長の松井先生とも一緒に、
交替で運転の御用に当たらせていた
だきましたので、いろいろとこまやかに信心や御
用についての教えを頂
き、意味深い参拝となら
せていただきました。



加治木教少年少女会の共同作品 果物や野菜の工作が優秀賞でした。



有蘭家母子も沖縄から参拝ができました



5日夜の宿泊は 防府サイクリングタニミヤル 運転お疲れさまでした



遺稿

昭和五十七年
「いっしん」より

矢野政美大人二十年祭を来年(平成三十一年)二月にお仕えするにあたり、矢野政美大人をはじめ共に信心を進めた方々の遺稿を掲載し、当時の信心姿勢に触れて改めて頂き直し、お慰びさせていただこうとするものであります。

「私にとっての百年祭」

宮内ミツル

(昭和五十七年十二月号より)

教祖百年大祭もあと一ヶ月でございます。

私の心の中には、教会表門と御神前に書かれました「奉迎教祖百年大祭 昭和五十八年九月〜十月」が、しっかりと思われてなりません。

又、参拝者氏名も書かれてありますが、親先生を始め一同元気で参りさせて下さいませと、お願い申し上げます。

私も入信致しまして三十年にならせて頂き、ようやく天地書附が単純ながら身につけてい



宮内ミツル氏

る様に思われます。

信心生活三十年、私も七十四歳にならせて頂き、人生の喜びも苦しみも私なりに体験させて頂きました。

もし金光様のみ数えに触れなかったら、どんな人生を送っていたであらうでしょうか、考えますとゾッと致します。

人生の意義も分らず、何の価値もない一生で終るはずが、二人のお友達に導かれまして、信心の道におかげを頂き、天地の親神様にめぐりあひ、神の氏子の自覚を悟らせて頂きました。

この有り難さは、何にたとえようもありません。私自身至らない信心で、皆様の批判もある生き方でありましようが、日々のお命を頂き喜び一杯で過ごさせて頂いております。

今日では育成会の御用にお使い頂き、この道一筋の一人でございますが、親先生のご祈念にすぎりまして、今月今日の信心に怠らず、育成の御用に励みたく思っております。私は、自分を見つめま

す時に、味方も十人ならば敵も十人あり、人間としてはあまり人様からなつかれてはいないのでございます。御理解に「身代と人間と達者」とみ教え下されてありますが、先ず私は人間らしい人間になりとうございます。

このごろでは、金光様・親先生と腹の底から願わせて頂いております。人間が人間らしく実らせて頂けば、神様に親先生に喜んで頂けると信じております。

私は、神様より健康のお恵みを頂き、心から感謝申し上げます。考えてみますと、神恩・国恩・父母の恩・師の恩すべてご恩の中の生活でございます。

私は信心が大好きでございます。金光様にご縁を頂き、しみじみありがたく思わせて頂きながら、更にこのお道を一人でも多くの方に伝えさせて頂かねば、相すまない思いが致します。

又、それがこのお道にご縁を頂いておる信者の使命であると思っております。教祖百年祭は、私にとりましては夜明けの様に思はれまして、今こそ

「天地書附」を真剣に……一転して有勤バアサンになり、人様に好かれたいと願っております。

社会が益々きびしい折から、育成の御用の大きいことを思いまして、ウンと若返り勇往まい進させて下さいませと祈っております。

私も自宅のご神前で、今日一日のお礼を申し、「体の丈夫を願え、体を作れ何事も体がもとなり」とお唱え申し上げていますと、何か胸がジンと熱くなり感涙にむせびました。

今日も本当にありがとうございます。

◆◆◆◆◆ 《宮内ミツルさんについて》

(教会長)

私たち夫婦が、加治木教会の後継の御用に平成三年の九月に入らせていただき、ひと月ほど経って、加治木教会布教四十年記念大祭が仕えられました。

その前夜、宮内ミツルさんは、入所しておられた故郷の福岡市の老人ホームから、許が出なかつたのでしよう無許可で友達と二人連れで参拝して来られました。

政美親先生にご挨拶ののち、私の所へ来られて「あなたが若先生ですね、よろしく頼みますね」と、百年の知己と思えるような親しさや気迫をもって話しかけてこられました。

その晩、加治木町内の知人宅に向かわれた後に、福岡市の老人ホームから搜索の電話がかかってきまして、老人ホームに無許可で抜け出され、来鹿された状況がわかってきました。しかし、それほど加治木教会への思い入れが深く、後継者のことや教会の行く末が案じられて仕方なかったでしょう。

福岡市で育たれ女学校まで卒業され、お若い頃に博多教会で入信され、仕事で宮崎県から鹿児島県(加治木町)へと移り生まれ、後半生は政美親先生のもとで信心の稽古に励まれました。

多くの方々を導かれ、加治木教会の少年少女会の育成会担当として運営に大変熱心に尽力されました。

現在六十代から七十代の信者さん方は、少年少女会の例会日になると「今日は教会の少年少女会ですよ」と誘いに来ておられたことを話され

ます。

また、宮内さんに導かれて入信された方や一緒に信心の稽古に励まれた方々は、今も何人もおられます。

晩年は、ヘルパーの仕事をしておられ、宮内虎雄さん(加治木町議会議長・加治町史編纂委員長等経歴)と出遭われ、教育や知的水準の高さから話が合い、請われて宮内家に入籍されました。もちろん、教会へも導かれ一緒に参拝されるようになられました。

また、ユニークな人柄で、いろいろな信心談やエピソードをたくさん遺されました。



夏季信行期間

七月一日〜三十一日

金光浩道先生の九十分のご講話(DVDビデオ)を毎朝御祈念後に、十分ずつ拝聴させていただき、期間中、九話を繰り返し返して研修させていただきました。

教主金光様のお祈りを受けられての御用、そしてご家庭での深いお祈りを感じるエピソードなどをお話し下さってありました。

また、この信行期間に「信行取組表」(連合会信徒部主唱)への取り組みも、呼びかけられました。↑

「立教160年に向けて」

平成(30)年(7)月(加治木 教会)

項目	①	②	③	④	⑤	⑥
1	○	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○	○
6	○	○	○	○	○	○
7	○	○	○	○	○	○
8	○	○	○	○	○	○
9	○	○	○	○	○	○
10	○	○	○	○	○	○
11	○	○	○	○	○	○
12	○	○	○	○	○	○
13	○	○	○	○	○	○
14	○	○	○	○	○	○
15	○	○	○	○	○	○
16	○	○	○	○	○	○

「信行取組表」に取り組まれた方は、是非とも教会までお持ちください、勢をそろえて信心の向上に取り組ませていただいた内容を「全国信徒会」で取りまとめられて、教主金光様にお届けしてお礼申し上げられお供えをされます。



矢野文枝先生

金光浩道先生のお話は、感心させられ、そうだなと思わせられることばかりでした。教主金光様がお結界にお座りになられてあるときに、金光様の次男さんの金光清治先生の息子さんがお結界にいられた時「今日は幼稚園で動物園に行ってきました、シマウマさんが死んじゃっていませんでした。写真だけがござってあり、かわいそうでした」とお届けされた後、金光様が、良くお参りができお届けができましたという意味合いで「けっこうでした」と言われると「けっこうじゃねえじゃろう！」と言われたことを、笑ってお話し下さったということがあり、ほのぼのとした親

しみ深い、尊いご家族の間柄が垣間見られる気がしました。



星原恭子氏

金光浩道先生のお話しは、ほんとうなすけることばかりでした。その中でも、弟の奥様の妹さんが、お姉さん清治先生の奥様に四人身のお子さんが誕生された時、一週間泊まり込んでお手伝いに行かれて、キッチンで用事していると金光様が孫の顔を見に来られたそうです。妹さんが緊張してキッチンの用事をしていているところに、お姉様の次男さん(当時三才)が突然妹さんを叩き始め、「やめて」と言っても何度も叩いてこられ、三才といえども叩かれると痛いし、金光様の前なので叱ることもできないで、苦肉の策で部屋の中を逃げて回るようにしていると、次男さんは半泣きで叩く手を全く止めず困り切っておられたところで、金光様がお口を開かれ「叩かせてやってもらえんかな」と仰り、妹さんは「金光様がそう仰るのなら」と

を決めて立ち止まり数回叩かせると、次男さんはすぐに落ち着かれたそうです。妹さんはびっくりされると同時に恐れ入られたとのこと…。

次男さんの、気が収まってしまったというお話しでしたが、金光様もその様子をみて何かを思われたから「叩かせてやってもえんかな」と仰ったのだらうと思います。

親は、木の上に立って見ると言いますけれども、若い頃には子ども心の動きに見極めがつきにくいことも、金光様は幅広く見極めがつかれるのだなと思わせていただきました。子どもの立場に立って、子どもが怒っているのか、何を求めているのか、深いお祈りがあってご覧になっておられたのだと思わせていただきました。



あしあと

加治木教会行事記録

8月

- 1 (水) ●月例祭(報徳) 10時半
- 4 (土) 少年少女全国大会 出発
- 5 (日) 少年少女全国大会 当日
- 6 (月) 少年少女全国大会 帰着
- 9 (木) 清掃御用 10時
- 10 (金) ●月例祭(生神金先 併せて 天神様 奉祭) 10時半
- 17 (金) 18 (土)
- 甘木親教会 婦人教師会
- 19 (日) 連夏のことい 10時半
- 21 (火) 清掃御用 10時
- 22 (水) ●月例祭(天地堂 併せて 天神様 奉祭) 共励会 13時半
- 31 (金) 清掃御用 10時

少年少女全国大会

「まごころ運動」の結果

皆さんの真心のこもるご協力ののおかげで

折り鶴 一六六八枚羽
古切手 一六六八枚羽
古カード 四枚羽

集まりました。ありがとうございます。ございました。



折り鶴の糸通し 8/1 月例祭後



九月

九月のご霊神様のおまじ

中島時彦之霊神	昭和62・09・02
平島信彦之霊神	昭和20・09・03
前田満之霊神	昭和42・09・03
庄村ミサ之霊神	昭和42・09・05
桐野伸太郎之霊神	昭和10・09・09
汰木スエ之霊神	昭和55・09・12
大重為廣之霊神	昭和24・09・22
汰木節夫之霊神	平成27・09・22
西本ハル子之霊神	平成17・09・25
桐野整之霊神	昭和45・09・28

立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんさせていただき、お礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。

九月八日(土)〜九日(日)

甘木親教会
九月八日午前七時半出発

信徒の集い

九月九日(日) 午前十時〜午後三時半
鹿児島地方教会連合会 申込締切六月十日

鹿兒島地方教会連合会

女性のつどい

講話：田辺徳子氏(日田教会)
場所：加音ホール(会議室)

九月二十三日(祝) 十時半より

秋季霊祭 奉仕

※祭典後、教話、茶話会。
(霊祭申込用紙、ご記入の上御結界へお届け下さい)

九月十五日(土)〜十六日(日)

十九時より

(御用奉仕・鹿児島教会)

青年のひろば

主催 連合会
場所 仙寿の里温泉 ※詳しくは別紙チラシをご覧ください。
講師 入木 覚 氏

九月二十九日(土)〜三十日(日)

御本部 生神金光大神御大祭 参拝

マイクロバスにて参拝の予定・宿泊、光風館

教会行事

9月

1 (土) ●月例祭(報徳) 10時半

8 (土) 清掃御用 10時

8 (土) 9 (日)

甘木親教会「信徒の集い」

9 (日) 連女性の集い

10 (月) ●月例祭(生神金光 併せて 大神様 月例霊祭) 10時半

15 (土) 16 (日)

連青年のひろば

18 (火) 19 (水)

甘木親教会 壮年部御用(教師)・TSC

21 (金) 清掃御用 10時

22 (土) ●月例祭(乃神様 共励会) 13時半

23 (祝) ●秋季霊祭 10時半

29 (土) 30 (日)

御本部 生神 御大祭参拝

※10月1日の月例祭は、御本部参拝のため
10月3日に変更いたします。

(9月) 29 (土) 30 (日)

御本部 生神 御大祭参拝

10月

2 (火) 清掃御用 10時

3 (水) ●月例祭(報徳) 10時半

併せて 教祖ご生誕祭

9 (火) 清掃御用 10時

10 (水) ●月例祭(生神金光 併せて 大神様 月例霊祭) 10時半

21 (日) 清掃御用 10時

22 (月) ●月例祭(乃神様 共励会) 13時半

28 (日) 上荒田教会御大祭 11時

31 (水) 清掃御用 10時

《未定行事》青年会・若婦人会

第23回 女性のつどい開催

9月9日(日)10:00〜 会場 加音ホール会議室

《講師紹介》 9月9日(日) 10:00〜 加音ホールにて

大分県 日田教会在籍

田辺 徳子 氏

プロフィール

昭和23年6月27日 誕生

44年3月 鹿児島女子短期大学卒業

49年3月 結婚

平成 10年10月 定年退職に改定

20年 専任司会

28年 佐賀県南九州地区委員

29年 全国霊祭実行委員会

29年 女性ネットワーク代表

♥チャリティーバザー 提供品の募集

手作り作品・手芸品・エプロン・バッグ・小物袋・家庭用品・石けん・洗剤・シャンプー・タオル・シーツ・傘・ハンカチ・靴下・帽子・衣服・コップ・皿・食器類・鉛筆・ボールペン・ノート・文具用品など(発注品以外のもの)

※提供品は、教会で取りまとめ、価格を付けて当日会場にご持参下さい。
※収益金は、女性委員会の運営及び、連合会「社会活動委員会」を通して、災害支援金とさせていただきます。

※お弁当(400円)の必要な方は、教会にお申し込みください。教会でとりまとめ、8月末までにお知らせ下さい。

金光教鹿児島地方教会連合会